

フランス教育学会

第41回大会プログラム

2023年9月2日（土）～3日（日）

大会日程

【第1日：9月2日（土）】於学士会館

理事会 13:00～13:50

受付 13:30～

総会 14:00～14:45

開会 14:50

シンポジウム 15:00～18:20 テーマ：高等教育政策過程の日仏比較 ※基調講演はオンライン

【第2日：9月3日（日）】於高等教育研究開発センター

受付 8:45～

自由研究発表 9:00～12:10

広島大学高等教育研究開発センター（〒739-8512 広島県東広島市鏡山一丁目2番2号）

フランス教育学会第41回大会実行委員会

委員長 大場 淳

準備委員 三好美織

電話 082-424-6233（大場淳研究室）

E-mail: ajref2023hiroshima@gmail.com

会場：広島大学学士会館レセプションホール及び高等教育研究開発センター（東広島キャンパス）

共催：広島大学高等教育研究開発センター

【大会第1日：9月2日（土）】広島大学学士会館レセプションホール

14:00～14:45 総会

14:50～15:00 開会行事

15:00～18:20 シンポジウム「高等教育政策過程の日仏比較」

20世紀末から、世界的に大学改革が取り組まれている。日本では、臨時教育審議会以降、大学審議会の諸提言を受けて大学設置基準の大綱化等が実施され、また、21世紀に入ってから設置基準の準則化や質保証制度の整備、国立大学の法人化、スーパーグローバル大学創成支援（SGU）等の競争的

資金の拡大，大学間連携・統合の推進，大学入試改革，更に近年では大学ファンドの設置など，様々な改革が取り組まれてきた。

他方，フランスにおいても，20世紀末の契約政策の導入，2007年の大学自由・責任法（LRU）制定，研究・高等教育評価機関（AERES）の設置，キャンパス事業（Opération Campus）や先導的卓越事業（IDEX）といった大型競争的資金，COMUE等による大学間連携の推進，バカロレア試験の見直し等高大接続制度の改革など，様々な大学改革が取り組まれてきた。

両国の取り組みの中には，例えば，日本の国立大学法人化とフランスのLRU，あるいはSGUと先導的卓越事業（IDEX）など対応するような政策が存在し，それぞれの改革の取組には相違点が少なくないものの，いわゆる新自由主義的な政策が大学改革に反映されていることが見て取れる。

しかしながら，両国の高等教育政策過程を見ると，フランスでは，行政機関に高等教育機関関係者が協力する形で形成されるのが日本では見られない特徴の一つである。例えば，現在の高等教育担当大臣（前任も）は元大学長であり，省内の担当局長やその他の重要ポストを大学人が占めることが少なくない。また，政府の審議会には高等教育利害関係者（教職員や学生を含む）が参加しており，政策形成に関与している。また，高等教育政策に限った制度ではないが，国務院や憲法裁判所など，政府の独走を抑制する機関が存在することも日本とは異なる。反面，昨今の日本の政策形成は内閣主導になって文部科学省の権限が減少していると言われ，まして大学人が政策決定に関与できる余地は極めて限られている。そして，フランスの国務院や憲法裁判所に相当する機関は存在しない。

本シンポジウムでは，高等教育政策過程の日仏比較を通じて政策形成の諸課題を検討し，両国における大学改革の在り方を考える一与とすることを目的とする。

基調講演：クリスティーヌ・ミュスラン（Christine Musselin）（シアンス＝ポ，オンライン参加）

報告1：田中 秀明（明治大学）

報告2：大場 淳（広島大学）

指定討論：黄 福涛（広島大学）

司会：上原 秀一（宇都宮大学）

【大会第2日：9月3日（日）】広島大学高等教育研究開発センター

9:00～12:10 自由研究発表

司会：大津尚志（武庫川女子大学），松原勝敏（高松大学）

9:00～9:30 赤星まゆみ（西九州大学）

フランスにおける農村学校の存立に関する調査報告 —ドロム学校（l'école de Drom）の事例—

9:30～10:10 阿部弘（東京国際フランス学園），上原秀一（宇都宮大学），シルヴァ，ソニア（東京都立大学大学院生）

フランス在外教育施設における道徳教育—東京国際フランス学園の事例から—

10:10～10:40 川端映美（大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程）

フランスにおける言語教育観の考察 —CASNAVでのインタビューをもとに—

10:40～11:10 細尾萌子（立命館大学）

フランスのバカロレア試験における内申点評価の拡大は公正か

11:10～11:40 横関木蘭（青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期課程）

高等学校英語教科書における文化的題材と学習者の異文化意識に関するアンケート調査—フランス教科書からの示唆を得て—

11:40～12:10 総括討論

大会参加要領

1 参加申込方法

大会参加御希望の方は、8月28日（月）までに実行委員会に Google フォームでお申し込みください。

下記の申し込み書式（Google フォーム、右の QR コードからもアクセス可）に必要な事項を記入の上、「送信」ボタンを押してください。なお、申し込みフォームはフランス教育学会公式ウェブサイトの大会案内ページからもアクセスできます。



Google フォーム : <https://forms.gle/j3zMM7UynqUFNf1F9>

フランス教育学会 HP : <https://ajref.sakura.ne.jp/ajref/>

※ Googleフォームにアクセスできない場合は、大会実行委員会のE-mailへ参加の御希望をご連絡ください。

2 大会参加費 正会員 3,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 1,000 円。

参加費は、当日大会会場でお支払いください。

3 自由研究発表時間

個人発表は 30 分（発表 20 分、質疑応答 10 分）、グループ発表は 40 分（発表 30 分、質疑応答 10 分）です。

4 会場までの交通アクセス

キャンパスまでは、以下のサイトを参照ください。

東広島キャンパス : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/access>

<注意>

- 新幹線の最寄り駅は東広島ですが、大会当日の週末はバスは運行しません。タクシーを利用ください（2,500 円程度）。
- バスは西条駅から広島大学循環便を利用ください。新幹線で東から来る場合は福山又は三原で、西から来る場合は広島で山陽本線に乗り換えください。
- 料金は 290 円です（後払い、両替機あり）。交通系のカードが使えます。
- 車で来場の場合、当日はキャンパスの全ての入口が開いています。駐車場は、会場近くにありまますので、そのまま会場付近までお越しください。
- 二日目の高等教育研究開発センターは、駐車場を挟んで学生会館の隣の建物（中央図書館）1 階にあります。

